

# H28年度 第1回安芸地域アクションプランフォローアップ会議の概要

日時：9月5日（月）14:00～16:30

場所：安芸総合庁舎 2階大会議室

## 1 議事等

- (1) 産業振興計画関連 年間スケジュールについて
  - ・ H28年度のスケジュールを説明
  
- (2) 地域アクションプランについて
  - 1) 第2期安芸地域アクションプランの取り組みの総括について
    - ・ 第2期の取り組みの成果等について説明
  - 2) 第3期安芸地域アクションプランの進捗状況等について
    - ・ 上半期の進捗状況等について説明
  
- (3) 産業成長戦略について
  - 1) 志国高知 幕末維新博について
    - ・ 実施計画について説明
  - 2) 移住促進の取り組みについて
    - ・ 移住促進策の進捗状況等について説明

## 2 意見交換

<産業振興計画関連 年間スケジュールについて>

- ・ 特になし

<地域アクションプランについて>

- ・ 特になし

<産業成長戦略について>

(志国高知 幕末維新博について)

- ・ 観光ガイドは重要な役割を果たすと思うが、実施計画書の中に、ガイドやマンパワーの記載が少ない。
  - ご指摘のとおり歴史資源の磨き上げや観光クラスターを形成するうえで、ガイドの役割は重要だと考えており、力を入れて取り組んでいく。今後の資料の記載方法についても検討する。

(移住促進の取り組みについて)

- ・ 県外での物産展などで寄せられる、移住に関するお問い合わせに対応するための制度を市町村に浸透させていく方法は考えているのか。
  - 移住専門相談員を全市町村に配置することを目標として、市町村における相談体制の量的な整備にまず取り組んでいく。
  
- ・ 高知県版CCRCの取り組みでは、医療サービスや介護サービスが必要となる可能性のある高齢者が増え、支える世代や市町村の負担がさらに増えることが懸念されるが、県の見解を聞かせてほしい。

→ 8月3日公表の「高知家生涯活躍のまちを実現するために～高知版CCRCのすがた～」では、医療介護が必要な高齢者層だけではなく、地域で活躍できる幅広い年齢の元気で活動的な移住者を迎え入れて、地域にとけ込む魅力的なコミュニティづくりを目指している。

移住者を受け入れる高知市と中山間地域の土佐町で、新たに生じる介護等の社会保障費負担や税収等の増加、消費活動などによる経済効果もシミュレーションしており、その試算では、両自治体の長期収支は赤字ではないことが示されている。

- ・高知に移住した人が、高知で暮らすのをやめて帰ってしまった理由は何か。
  - 昨年度実施した、H25年度に移住してきた方へのアンケート調査では、県や市町村の移住相談窓口を経て移住された回答者71組のうち9組が高知で暮らすのを止めて県外へ転出しており、最も多い理由は「想像していた仕事と差があった」や「別の仕事が見つかった」など仕事に関するものが6組、「親の介護が必要となった」が1組、「その他・不明」が2組である。「ご近所トラブル」などの理由は記載されていなかった。

#### ■お問い合わせ先

高知県産業振興推進部計画推進課（地域産業担当）

電 話 088-823-9334

FAX 088-823-9255

メール 120801@ken.pref.kochi.lg.jp